

## 2024\_0129「四季島との出会い（動画）」日々の理科 3462号

お茶の水女子大学 サイエンス&エデュケーション研究所 田中 千尋

先日、早朝の小田原駅で四季島に出会うというサプライズがありました。「四季島（しきしま）」というのはJR東日本が所有・運行する、クルーズ列車（周遊型寝台列車）のことです。10両編成の列車で、旅客定員はわずか34名。日本一豪華な列車と言えるでしょう。

通常の運行コースは、東北地方・北海道・北陸地方が多く、東海道本線にはめったに姿を見せないはずですが、熱海から先は「JR 東海」の管轄だからです。最初は四季島の回送列車かとも思いましたが、実際に乗客が乗っていて、小田原駅のホームでは歓迎セレモニーもあり、市内の観光に向かっていました。熱海方面から早朝の小田原駅に入線したので、「上野駅～鹿島神宮駅～千葉駅～根府川駅～大宮駅～深谷駅～上野駅、成田線・鹿島線・東海道本線などを經由」というコースの2日目ようです。

四季島の列車の最大の特徴は「ディーゼルエレクトリック車両」ということです。電化された区間ではパンタグラフを上げて「電車」として走りますが、非電化区間では「気動車」としても走れます。そんな車輛の製造には大変な費用がかかるので、一般の車輛ではあり得ない特徴です。料金も破格（高いほうの破格）で、3泊4日の東北・北海道コースで、一番豪華な「四季島スイート」に2名で乗車すると、約260万円！私は一生乗れそうもありません……。

(2024年1月下旬／東海道本線小田原駅)

